

# 「ほうじょう」コラム

題 水産庁公表「広域藻場モニタリングの手引き」について

水産技術センター 相模湾試験場 主任研究員 蓑宮 敦  
栽培推進部 主任研究員 木下 淳司

海藻が繁茂する藻場は、水産生物の保護育成の場として極めて重要です。しかし、近年、神奈川県下においても磯焼けが進行し、急激に藻場の衰退や消失が起っています。

当場は、昨年度まで水産庁事業による藻場調査を、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所との共同で実施してきました。※[調査の様子はこちらです](#)

漁業調査指導船「ほうじょう」と船外機船「はやかわ」を使用して実施した調査手法は、水産庁「[広域藻場モニタリングの手引き](#)」として公表されることになりましたので、この度紹介させていただきます。この広域藻場モニタリングの手引きには、藻場を把握する際に必要となる現地データを潜水観察・船上観察で取得する方法などが説明されており、市町村や、都道府県における藻場のモニタリングや管理に役立つことが期待されています。

[https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko\\_gyozyo/g\\_guideline/](https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyozyo/g_guideline/)

私たちは今後も、各研究機関と連携した業務をおこない、神奈川県水産業の振興に貢献していきます。

